

## 《E Vハーネス救助の留意事項》

### 航空隊員の留意事項

- E Vハーネスはダウンウォッシュの影響を受け、装着が困難となるため、ダウンウォッシュの影響の無い位置でへりは、待機。若しくは、現場離脱。
- **必ず、座った姿勢からPUすること。**
- **P U時、特に地を切る瞬間、指を挟む危険性があるので要救助者の持ち手に注意する。**
- P U時、スキッドをクリアーさせる際は、O PとRが協力し、要救助者を保護しながら活動する。
- ホイストフックの取り付け時フックロックを確認する。
- Rは無線を活用し情報を送る。

### 機長の留意事項

- 後方待機する場合、目で確認できる位置まで移動する。それができない場合、それにこだわることなく左方向待機又は、トラフィックをとる。  
(E Vハーネスはへりのダウンウォッシュで装着が困難になるため、Rが地上到着後は一旦現場離脱するか、後方待機して風の影響を最小限にする)
- 後方待機する場合、後方の安全を確認してから行う。
- 吊り上げ時、E Vハーネスは風の影響を受けやすく回転する可能性がある。